

# 第5 記入要領及び記入例

## 1 記入要領

(法第5条第1項の規定(有害物質の使用なし)による設置届出の場合)

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵特定施設)設置(使用、変更)届出書

令和 年 月 日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇市字〇〇111番地

(有)〇〇ファーム

代表取締役 沖繩 太郎

(098-0000-0000)

届出者

水質汚濁防止法第5条第1項、第6条第1項又は第9項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵特定施設)について、次のとおり届け出ます。

届出の内容により、不要な箇所及び条文は二重線で消してください。なお、各条文に規定する届出の内容は以下のとおりです。  
 第5条第1項：特定施設(有害物質使用特定施設を含む)の設置届出  
 第5条第2項：有害物質使用特定施設に係る汚水等を地下浸透させる有害物質使用特定施設の設置届出  
 第5条第3項：有害物質貯蔵特定施設等の設置届出  
 第6条第1項～第3項：使用届出  
 第7条：構造等変更届出

工場又は事業場の名称	(有)〇〇ファーム 〇〇農場	※整理番号
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇村字〇〇777番地	※受理年月日
特定施設の種別	102 イ 11 イ	※施設番号
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
△排水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
△排水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
△排水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
有害物質使用特定施設の種別		
△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	

届出者が個人の場合は事業者の住所・氏名を、法人の場合は法人所在地、法人名及び代表者の氏名を記入してください。  
 なお、届出者の氏名は旧姓を併記することができます。  
 記載例：環境「沖繩」太郎(沖繩太郎が環境太郎に改姓した場合)

特定施設を設置等しようとする工場等の名称及び住所を記入してください。

令別表第一に掲げる号番号及び名称(詳細は5P～13Pの表1を参照)を記載してください。

有害物質使用特定施設に該当しない場合は「無」にチェックを入れてください。

届出の内容により、不要な欄は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

法第5条第3項に関係する施設以外は記載不要です。斜線で欄を消してください。

なお、法第5条第3項による届出のうち、有害物質使用特定施設に係るものは合流式の下水道等に雨水を含めたすべての排出水を排出するなど、公共用水域への排水が一切ない施設が対象です。沖縄県内の下水道は分流式（雨水はそのまま公共用水域に放流し、下水のみを終末処理場で処理する方式の下水道）となっているため、法第5条第3項による届出は原則として有害物質貯蔵指定施設に係る届出のみとなります。

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	豚舎 1~4	堆肥舎 1
特定施設番号及び名称	1の2 イ	11 イ
型式	糞尿分離式	乾燥堆肥施設
構造	コンクリートブロック造	コンクリートブロック造
主要寸法	W 〇〇m × L 〇〇m × H 〇〇m 〇〇 m <sup>2</sup>	W 〇〇m × L 〇〇m × H 〇〇m 〇〇 m <sup>2</sup>
能力	飼育頭数 〇〇 頭	堆肥生産量 1 t/日
配置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項		

工場等で付けている施設番号又は通し番号等を記入してください。また、別紙 2~6 及び添付図面等においても、同じ施設番号を記入してください。

令別表第一に掲げる号番号及び名称（詳細は 5P~13P の表 1 を参照）記入してください。

施設の形式や、機械等の場合はメーカー名等を記入してください。

施設の構造材料及び材質等を記入してください。また、施設に関する構造図、カタログ・資料等を添付してください。

特定施設の時間あたり又は一日当たりの処理能力等を記入してください。

特定施設の配置場所を明示した工場又は事業場の配置図を添付してください。

設置届出の場合は設置年月日の記入は不要です。

特定施設の設置に係る工事着手、完成及び使用開始の予定年月日を記載してください。

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	堆肥舎 1	豚舎 1~4	堆肥舎 1
特定施設番号及び名称	11 イ	1の2 イ 豚房施設	11 イ
設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
操業の系統	別添操業系統図のとおり	別添操業系統図のとおり	別添操業系統図のとおり
使用時間間隔	通年使用	通年使用	通年使用
1日当たりの使用時間	24時間	24時間	24時間
使用の季節的変動	なし	なし	なし
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	洗浄水 ○○ m <sup>3</sup> 飼料 ○○ kg オガコ ○○ kg	洗浄水 ○○ m <sup>3</sup> 飼料 ○○ kg オガコ ○○ kg	豚ふん ○t オガコ ○○ kg
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常 最大	通常 最大
	PH BOD SS 大腸菌数 NH <sub>4</sub> NO <sub>2</sub> NO <sub>3</sub> -N T-P T-N	通常 6~7 最大 2000 3000 4000 >800 500 100 800	通常 6~7 最大 3000 6000 >800 800 200 1000
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常 30 最大 45	通常 0 最大 0	通常 0 最大 0
その他参考となるべき事項	余剰水分はオガコにて固定。排水無し。		

別紙1と同様に記載してください。

特定施設を含む操業の系統(工場等の場合は製造工程等)をフローチャート等で記入してください。欄内の記入が困難な場合は、別紙に記入した資料を添付し、欄内には「別添○○のとおりに」と記入してください。

使用時間間隔当を記載してください。旅館業や製造業等において、季節によって稼働時間が変わる場合は、具体的に「繁忙期(5月、7~8月)の使用量は約2倍」等記入してください。

pHやBOD等規制対象項目や使用水量に影響を与えるものについて、具体的に記載をお願いします。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

汚水量を記入してください。

その他施設の使用にあたり特記すべき事項があれば記入してください。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設	浄化槽 1	
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	
設置年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
工事完成予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
種類及び型式			
構造	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり	
主要寸法	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり	
能力	20 m <sup>3</sup> /日	5人槽 処理能力 1.0 m <sup>3</sup>	
処理の方法	回転式活性汚泥法		
集水及び導水の方法	別添集水・導水図のとおり	別添集水・導水図のとおり	
使用時間間隔	1日20時間運転4時間停止	一日24時間運転	
使用の季節変動	無し	無し	
消耗資材の1日当たりの 用別使用量	汚泥凝集剤 ○ kg/月 消毒剤 ○ kg/月	消毒剤 ○ kg/日	
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	最大 処理前後	最大 処理前後
	種類・項目	通常 処理前後	通常 処理前後
PH	6~7	6~7	5.8~8.6
BOD	2000	100	200
SS	4000	120	10
大腸菌数	>800	6000	250
NH <sub>4</sub> NO <sub>2</sub> -N	500	>800	<15
T-P	100	80	200
T-N	800	1000	>800
量 (m <sup>3</sup> /日)	10	20	0.2
残さの種類、1月間の種類 別生成量及び処理方法	余剰汚泥 ○ t/月 余剰汚泥は堆肥舎にて堆肥化		
排出水の排出方法	○川へ放流		
その他参考となるべき事項			

事業場に設置されている汚水等を処理する設備について、別紙1~2と同様に記入してください。  
特定施設からの排水を処理しない汚水処理施設（事務所に設置され、従業員の生活排水のみを処理する浄化槽等）についても、記入してください。

浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください。

特定施設以外から排出される水の建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください。

汚水の処理に使用する資材等を記入してください。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される排水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。  
また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

余剰汚泥等、排水処理で発生する残さについて、1か月間の発生量及び処理方法を記入してください。

放流先河川名等を記入してください。

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかると排水基準に定められた事項について記載すること。

備考 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号	排水口 1		雨水	
	通常	最大	通常	最大
排水水の汚染状態	種類・項目			
	PH	6~7	6~7	
	BOD	100	120	
	SS	120	120	
	大腸菌数	<800	<800	
	NH <sub>4</sub> NO <sub>2</sub> NO <sub>3</sub> -N	80	100	
	T-P	20	25	
T-N	100	120		
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大
	10.2	20.2	0	0
その他参考となるべき事項				

全ての排水口（雨水等特定移設以外の排水しか排出しない排水口も含む）に通し番号等を付し記入してください。

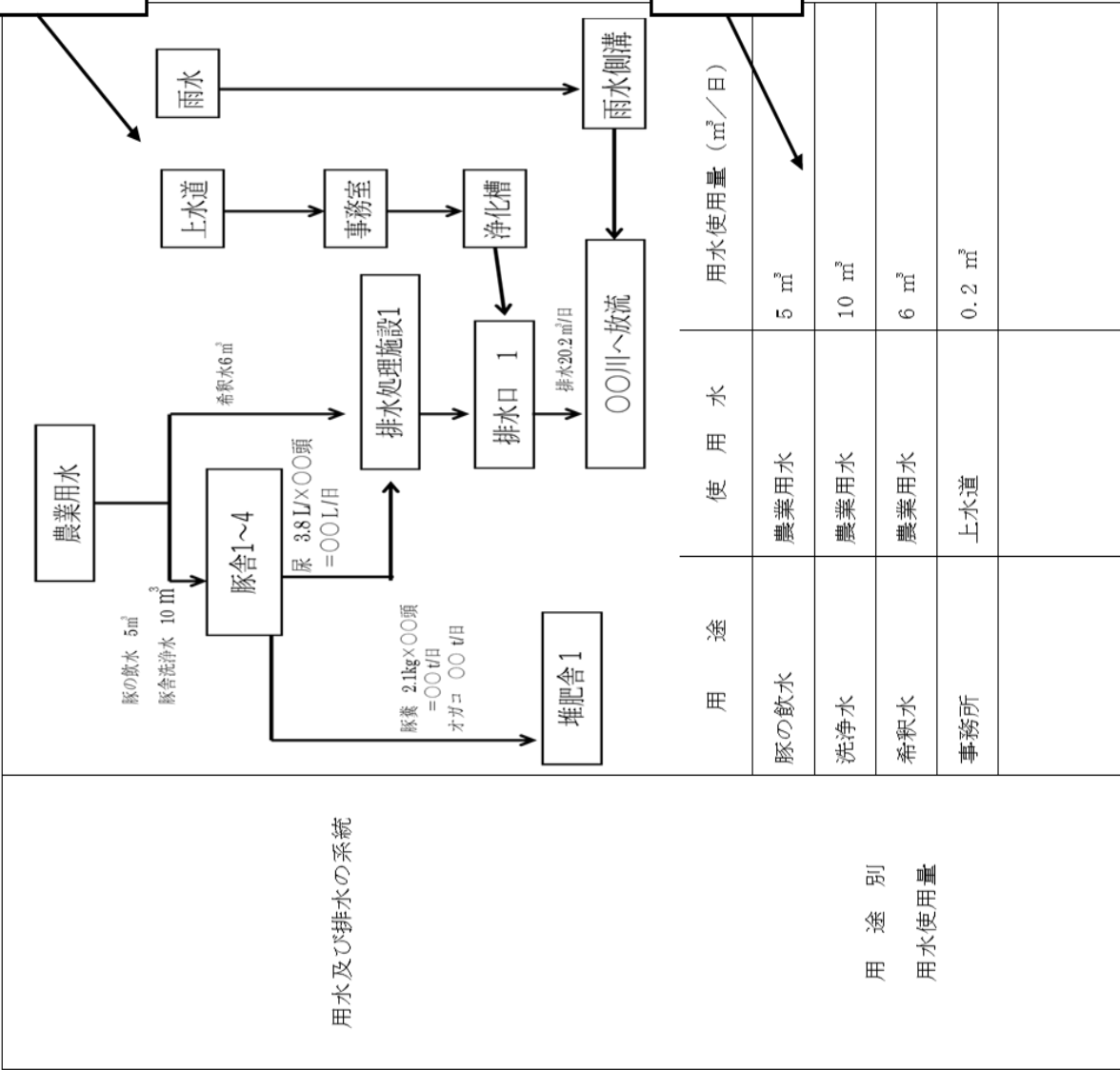
pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。  
なお、ここで記入した項目は1年に1回以上測定し、その結果を記録・保存しなければなりません。その他の項目については必要に応じて測定を行なってください。

排水水の量を記入してください。下水道に放流する場合も、記入してください。  
なお、雨水については、晴天時に排水が無い場合は、排水の量の欄に「0」と記入してください。

雨水以外の排水を全量下水道に放流する施設の場合は、その他参考となるべき事項欄に「上記汚水については公共下水道へ排出」等記載してください。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



事業所における用水及び排水の系統図及び水量の値を記入してください。欄内の記入が困難な場合は、別紙に記入した資料を添付し、欄内には「別添〇〇のとおり」と記入してください。

工場又は事業場で使用する水の使用用途別（洗浄水、冷却水等）を記入してください。また、使用水の種類（水道水、農業用水、工業用水等）を記入してください。

用水及び排水の系統

用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
豚の飲水	農業用水	5 m <sup>3</sup>
洗浄水	農業用水	10 m <sup>3</sup>
希釈水	農業用水	6 m <sup>3</sup>
事務所	上水道	0.2 m <sup>3</sup>

用途別  
用水使用量

(法第5条第1項の規定(有害物質使用特定施設)による設置届出の場合)

様式第1 (第3条関係)(表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

令和 年 月 日

〇〇保健所長 殿

届出者  
 〇〇市〇〇1-2-3  
 一般社団法人〇〇研究所  
 理事長 沖繩 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条第1項の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

届出の内容により、不要な箇所及び条文は二重線で消してください。なお、各条文に規定する届出の内容は以下のとおりです。  
 第5条第1項：特定施設(有害物質使用特定施設を含む)の設置届出  
 第5条第2項：有害物質使用特定施設に係る汚水等を地下浸透させる有害物質使用特定施設の設置届出  
 第5条第3項：有害物質貯蔵指定施設等の設置届出  
 第6条第1項～第3項：使用届出  
 第7条：構造等変更届出

届出者が個人の場合は事業者の住所・氏名を、法人の場合は法人所在地、法人名及び代表者の氏名を記入してください。  
 なお、届出者の氏名は旧姓を併記することができます。  
 記載例：環境「沖繩」太郎(沖繩太郎が環境太郎に改姓した場合)

特定施設を設置等しようとする工場等の名称及び住所を記入してください。

令別表第一に掲げる番号及び名称(詳細は5P～13Pの表1を参照)を記載してください。

有害物質使用特定施設に該当する場合は「有」にチェックを入れてください。

届出の内容により、不要な欄は斜線で消してください。

工場又は事業場の名称	〇×△研究所	※整理番号	年 月 日
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇1-2-3	※受理年月日	
特定施設の種別	71の2 科学技術に関する研究、試験、検査の業務の用に供する施設、 イ、廃浄施設	※施設番号	
有害物質使用特定施設該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
△特定施設使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排水水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排水水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
有害物質使用特定施設の種類			
△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
△有害物質使用特定施設使用の方法	別紙8のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

第5条第1項関係

第5条第2項関係

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

法第5条第3項に関係する施設以外は記載不要です。斜線で欄を消してください。

なお、法第5条第3項による届出のうち、有害物質使用特定施設に係るものは合流式の下水道等に雨水を含めたすべての排出水を排出するなど、公共用水域への排水が一切ない施設が対象です。沖縄県内の下水道は分流式（雨水はそのまま公共用水域に放流し、下水のみを終末処理場で処理する方式の下水道）となっているため、法第5条第3項による届出は原則として有害物質貯蔵指定施設に係る届出のみとなります。

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1 流し台	No. 2 流し台
特定施設番号及び名称	7 1 の 2 イ. 洗浄施設	7 1 の 2 イ. 洗浄施設
型式	流し台 (2層シンク) ABC型	流し台 (2層シンク) ABC型
構造	本体：ポリエステル樹脂化粧板 流し：ステンレスSUS304 配管：硬質塩化ビニル 幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	本体：ポリエステル樹脂化粧板 流し：ステンレスSUS304 配管：硬質塩化ビニル 幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)
主要寸法	幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)
能力	—	—
配置	別紙 平面図のとおり	別紙 平面図のとおり
設置年月日	年—月—日	年—月—日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	有害物質使用特定施設 床面：コンクリート +ビニルエステル樹脂系塗り床剤 3.5mm	

工場等で付けている施設番号又は通し番号等を記入してください。また、別紙 1 - 2 ~ 6 及び添付図面等において、同じ施設番号を記入してください。

令別表第一に掲げる号番号及び名称 (詳細は 5P ~ 13P の表 1 を参照) 記入してください。

施設の型式、構造材料及び材質等を記入してください。また、施設に関する構造図、資料等を添付してください。なお、これらの内容を満たす書類を添付する場合は、当枠内を「別添資料のとおり」と記載してもかまいません。

洗浄施設など、能力の記載が難しい施設については、空欄とするか 1 日あたりの処理検体数を記載してください。

特定施設の配置場所を明示した工場又は事業場の配置図を添付してください。なお、有害物質を使用する場所については、平面図にその旨の記載をお願いします。

設置届出の場合は設置年月日の記入は不要です。

特定施設の設置に係る工事着手、完成及び使用開始の予定年月日を記載してください。

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No.2 流し台										
特定施設番号及び名称	71の2 イ. 洗浄施設										
設備	①地上配管 ②ピット内配管										
構造	①ステンレス製 ②硬質塩化ビニル製										
主要寸法	①直径 100mm×長さ 1m ②直径 100mm×長さ 10m										
配置	別添 構造図及び配管図のとおり										
設置年月日	年—月—日	年	月	日							
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令	和	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日		
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令	和	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日		
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令	和	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日		
その他参考となるべき事項	有害物質を使用 (別添使用薬剤リスト①) 配管材質 硬質塩ビ管 配管点検：目視点検(年〇回) 施設周辺床面：耐薬性被覆(被覆の性状は別添カタログ参照)										

有害物質使用特定施設に該当する施設のみ、別紙1と同様に記載してください。

施設に付帯する配管（地上配管、地下配管）、排水溝、フランジ、ためます等の設備について記入してください。

設備欄で記載した設備の材質について記入してください。また、構造図、仕様書、カタログを添付してください。  
※トレンチ（地下配管）の場合は、トレンチの構造についても記入してください。  
なお、これらの内容を満たす書類を添付する場合は、当枠内を「別添資料のとおり」と記載してもかまいません。

設備の大きさを記入してください。

配置図、配管図等を添付してください。なお、排水配管図において、有害物質に係るものについては色分けを行うなど、通常の排水管と区別してください。

設置届出の場合は設置年月日の記入は不要です。

有害物質使用特定施設の設置に係る工事着手、完成及び使用開始の予定年月日を記載してください。

有害物質使用特定施設に該当する場合には周辺の床構造や配管の構造、配管材質、トレンチの有無など、点検頻度詳細について記載してください。また、防液堤等については、容量を記入してください。

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No.1 流し台	No.2 流し台		
特定施設番号及び名称	71の2 イ. 洗浄施設 別紙 平面図のとおり	71の2 イ. 洗浄施設 別紙 平面図のとおり		
設置場所	別紙のとおり	別紙のとおり		
操業の系統	別紙のとおり	別紙のとおり		
使用時間間隔	8:00~18:00	8:00~20:00		
1日当たりの使用時間	8時間	10時間		
使用の季節的変動	季節変動なし	夏季に多い		
原材料 (消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	硫酸 約0m l 硝酸銀 約0g 過マンガン酸カリウム溶液 約0m l	別紙 使用試薬一覧のとおり		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	
	pH BOD SS その他 ※排出の恐れのある生活環境項目 有害物質28項目 ※有害物質28項目については、使用しているものの(使用試薬に含有されているもの)について記載する。	通常	最大	
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大
1.0	1.3	0.5	0.7	
その他参考となるべき事項				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙1と同様に記載してください。

特定施設を含む操業の系統（工場等の場合は製造工程等）をフローチャート等で記入してください。欄内の記入が困難な場合は、業務内容の系統図や事業場のパンフレット等を添付し、欄内には「別添〇〇のとおり」等と記入してください。

使用時間間隔当を記載してください。  
季節によって稼働時間が変わる場合は、具体的に「繁忙期（5月、7～8月）の使用量は約2倍」等記入してください。

洗浄施設等においては、原材料の記載は事業場で用いている試薬一覧を添付してもかまいません。  
なお、使用薬剤リストについて、水質汚濁防止法では、有害物質が不純物として含まれているものについては記載不要です。

排水基準が定められている項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。  
また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

汚水量を記入してください。

その他施設の使用にあたり特記すべき事項があれば記入してください。  
例：実験器具等使用後の一次及び二次洗浄水は回収して産廃処理。三次処理水のみ流し台に流すが、有害物質は含まれていない。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No.3 除害施設			
	別紙 平面図のとおり	年 月 日	年 月 日	年 月 日
処理施設の設置場所				
設置年月日	令和〇年 5月 10日			
工事着手予定年月日	令和〇年 3月 31日			
工事完成予定年月日	令和〇年 4月 1日			
使用開始予定年月日				
種類及び型式	〇〇型 ( )			
構造	構成材料等を記載。 例) コンクリート製、FRP製など			
主要寸法	処理施設の縦、横、深さ、容量等を記載。 例) 〇mm×△mm×□mm (〇㎡) など			
能力	1時間又は1日当たりの汚水処理能力を記載。 例) 1㎡/時、3㎡/日など			
処理の方式	「中和処理法」、「凝集沈降法」、「活性汚泥法」などを記載。			
集水及び導水の方法	処理施設までの排水経路等を記載。			
使用時間間隔	連続 (24時間)			
使用の季節変動	季節変動なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	希硫酸 ○L、水酸化ナトリウム溶液 △L、亜硫酸水素ナトリウム □L			
種類・項目 pH BOD SS その他 ※排出の恐れのある生活雑排水項目 ※有害物質2.8項目 ※有害物質2.8項目については、使用試薬に含有されているものについて記載する。	通常	最大	通常	最大
	処理前 処理後	処理前 処理後	処理前 処理後	処理前 処理後
汚水等の汚染状態及び量	1.5	1.5	2.0	2.0
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	スラッジ ○kg/月 産業雑排水として委託処理 (可能であれば、契約業者名も記載する。) 処理施設→下水道→〇〇浄化センター 雨水放流口 ○箇所→側溝→□川			
排水水の排出方法				
その他参考となるべき事項				

事業場に設置されている汚水等処理する設備について、別紙 1～2と同様に記入してください。  
特定施設からの排水を処理しない汚水処理施設（事務所に設置され、従業員の生活排水のみを処理する浄化槽等）についても、記入してください。

浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーンストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください。

特定施設以外から排出される水の建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください。なお、排水配管図において、有害物質に係るものについては色分けを行うなど、通常の排水管と区別してください。

汚水の処理に使用する資材等を記入してください。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される排水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。  
また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

余剰汚泥等、排水処理で発生する残さについて、1か月間の発生量及び処理方法を記入してください。

放流先河川名等を記入してください。

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。  
2 排水水の排出方法の欄には、排水口の位置及び並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号	No. 4 公共下水道		No. 5 雨水	
	通常	最大	通常	最大
種類・項目				
排水の汚染状態	pH			
	BOD			
その他の ※排出の恐れのある生活環境項目	SS			
	有害物質28項目			
※有害物質28項目については、使用しているもの(使用試薬に含有されているもの)について記	排出水の量 (m <sup>3</sup> /日)	2.0	3.0	0
	その他参考となるべき事項	上記汚水については公共下水道へ排出。 雨水排水出口 ○箇所		

全ての排水出口（雨水等特定施設以外の排水しか排出しない排水出口も含む）に通し番号等を付し記入してください。

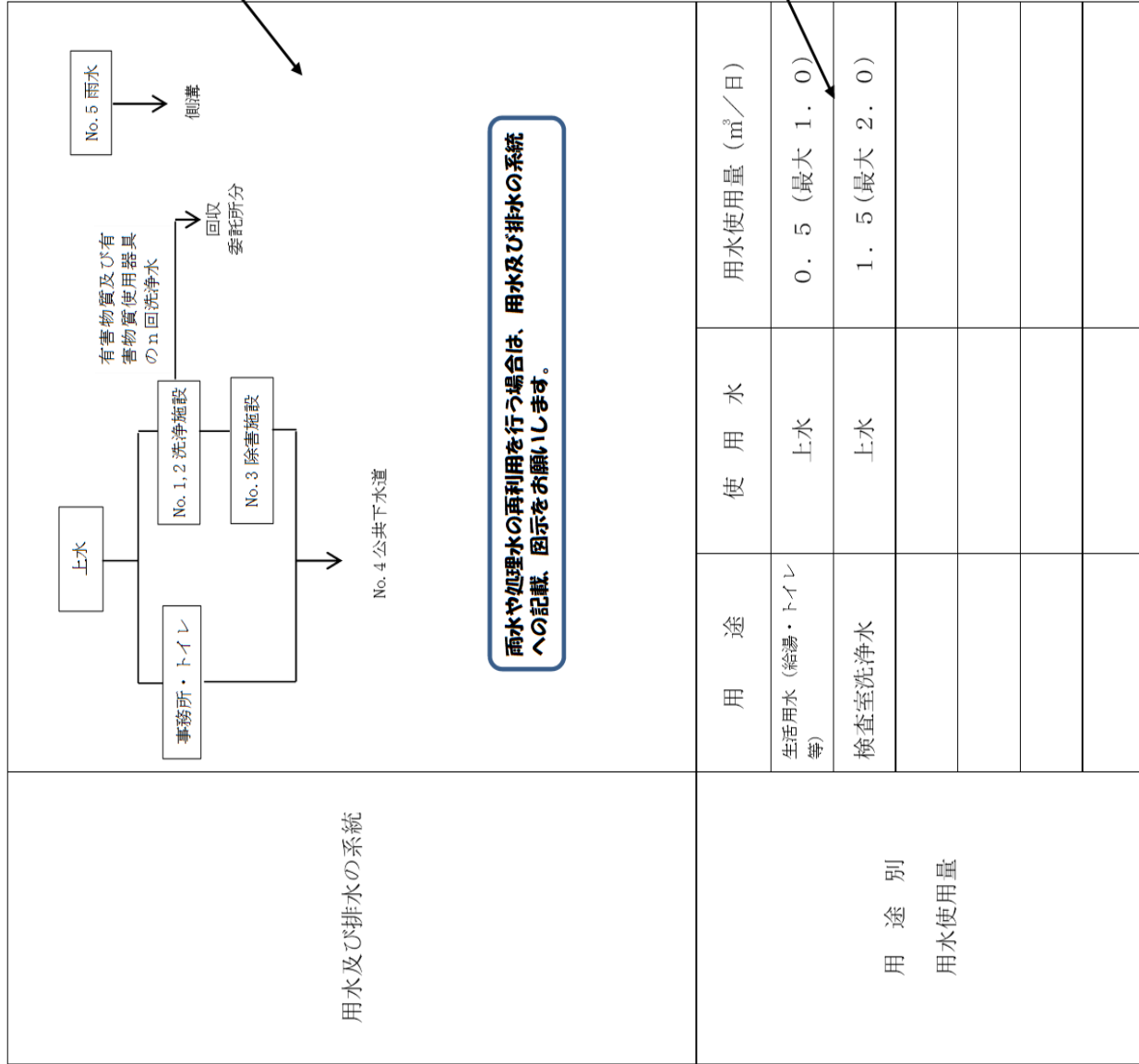
規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。生活環境項目については、市町村下水道課へ提出した値を記入してもかまいません。

排水水の量を記入してください。なお、雨水については、晴天時に排水が無い場合は、排水の量の欄に「0」と記入してください。

雨水以外の排水を全量下水道に放流する施設の場合は、その他参考となるべき事項欄に「上記汚水については公共下水道へ排出」等記載してください。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



事業所における用水及び排水の系統図及び水量の値を記入してください。欄内の記入が困難な場合は、別紙に記入した資料を添付し、欄内には「別添〇〇のとおり」と記入してください。また、雨水や処理水の中水利用を行う場合も、当該系統図への記載及び図示してください。

工場又は事業場で使用する水の使用用途別（洗浄水、冷却水等）に使用水量を記入してください。また、使用水の欄には、使用する水の種類（水道水、農業用水、工業用水等）を記入してください。

雨水や処理水の再利用を行う場合は、用水及び排水の系統への記載、図示をお願いします。

用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
	生活用水 (給湯・トイレ等)	上水	0. 5 (最大 1. 0)
	検査室洗浄水	上水	1. 5 (最大 2. 0)